科学技術外交戦略TF(第4期)の進め方

①施策レビュー 各省の取組について、以下を観点から提言を作成 • 追加すべき施策(基本計画中の推進方策で対応さ れていないもの) 各省の • 修正すべき施策(推進方策が実現可能な枠組み 国際関連施策 はあるが、工夫が必要なもの) • 強化すべき施策(推進方策が実現可能な枠組み で外交的視点等も踏まえ、更に強化する必要があ るもの) 外交的視点 第4期科学技術基本 外交日程、基本計画とりまと め以降の外交基軸の変化等 計画(Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ章) ②科技外交戦略TF報告書フォローアップと 新たな課題の絞り込み • 科技外交戦略TF報告書や外交における重点的取 組を踏まえ、地域、分野・課題、制度の観点から現 在の科学技術外交における課題を今一度整理し、 科技外交戦略TF 数年以内に着手すべきもの、長期的に取組ものを 報告書 提示(含エリア構想の進め方再検討) • また、新たな課題として、例えばJapan passing、日 本人研究者の内向き志向、日本の独法・大学の海 外研究拠点を支援する仕組み強化にどう対応する

か等についても検討

提言とりまとめ

- 1. 平成25年度に対応すべきこと
- 2. 平成26年度以降に対応すべきこと(10月末)

協議会等に 提案し、APの 議論に反映

各省に提案

③科学技術外交連携推進協議会の 設置について検討→専調へ提言

各省のプログラムの連携を図るため の共通戦略とりまとめ(10月末目途)

→専調へ報告

- 1. 平成26年度以降に対応すべきこと(10月末)(再掲)
- 2. 数年以内に着手すべきもの ⇒平成26年度のAPの検討のイン プット
- 3. 長期的に取り組むもの